



春夏秋冬

2019
vol.16
季刊発行

eco 情報



「消費税」

2019年10月1日から消費税が8%から10%になります。2000万円の家だと2%増で40万円増加します。建築工事は長期に渡りますので、当社では工事途中でも9月30日でいったん決算をして少しでも、お客様の負担を減らそうと考えています。

工事の依頼は、お早めに！

ワンジャ 王家 サイカン 菜館

中田家の嫁、王さんが教える中国の家庭料理。ぜひ試してください。



file No.016 「青椒肉絲」(チンジャオロース)

中華料理の中でも日本で最もポピュラーな青椒肉絲、赤ピーマンで彩どりを添えてみました。



材料

豚肉 200g
ピーマン 3ヶ
きくらげ 少々
醤油、酒、みりん、塩、片栗粉 少々

作り方

1、肉を細切りにし下味をつけ、片栗粉を入れもみ込む。
2、ピーマンを細切りにする。
3、お肉をしっかり焼きピーマン、きくらげを入れて炒め合わせる。

「空き家・土地問題を考える」

今回はお客様からの依頼で土地探しからお手伝いすることになり、羽生市内には空き地、空き家がたくさんあるので難しい依頼とは思ってもみませんでした。知り合いの不動産屋さんや地主さんたちに聞いて流通している物件の少なさにびっくりしました。地主さんと関係の多い農協さんでも市内には3つの物件しかありませんでした。経済成長の時代には土地神話があり土地は値上がりしても値下がりすることはなかった時代から一転して、土地はお荷物になってしまったようです。



当社の周りにも(写真参照)空き地、空き家がたくさんありますが、不動産屋さんの流通に乗っている物件はありません。駅の近くは電車の便や買い物が便利で学校へも近く、良いことづくめでしたが出ていく人がいても、入ってくる人はいません。

今回の依頼で分かったことは、土地を売りたい人、買いたい人が大勢いるのに流通に乗っていないという現実を知り、街中の空き家、空き地に人が入ってくるお手伝いをもっとできればと思いました。

イベント報告

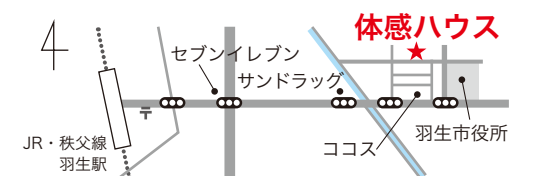
小山建設は夏涼しく冬温かい外断熱・二重通気工法「ソーラーサーキット」をおすすめしています！

冬の体感フェア2019

大勢のご来場
ありがとう
ございました。



いろいろな意見が聞けて参考になりました。



羽生市東6-5-13 ☎048-563-1123

三代目通信

四年間の集大成、卒業設計も無事終了。

小さいころから現場に就いてくるのが好きだった。

4月からは建築関連企業へ！ 頑張れ三代目。

ソーラーサーキットの家



発行：有限会社 小山建設
羽生市中央2-6-3
☎048-561-6878
info@e-hous.co.jp
編集長：中田 新一

● web もご覧ください
<http://www.e-hous.co.jp/>

OB report 訪問

小山建設で建てられた住まいを訪問し、今の住み心地等をうかがいました。
今後より良い家づくりをするためのヒントを見つけたいと思います。

お客様インタビュー「行田市S邸」



最初に体感ハウスに来られた時の第一声が夏は一日中エアコンを使わなければいけないのですか。なぜですかと聞くと断熱に特化したメーカーで冬はいいけれど夏は断熱材の輻射熱の関係で一日中エアコンを使用してください、とのこと。



元々断熱材は寒さの厳しいヨーロッパから入ってきました。寒いだけのヨーロッパでは良いのですが、夏が暑い日本では夏対応が必要なのです。気密断熱で納得した後はプランニング、家族の気配が伝わるように大きな吹き抜けが欲しい吹き抜けのあるリビングを經由しないと2階には行けないようにしてほしい。子供たちが帰ってきたのもわからない家族にしたい。台所から脱衣所、浴室を一直線で結んで家事の効率を図りたい。敷地の関係で道路と玄関が隣接してしまうので目隠しと風通しを考えてほしい。というご家族の希望を形にしたらこうなりました。



地元・羽生市での取り組み

「羽生地区市民運動会」

毎年、南小と北小で交互に開催される羽生地区の市民運動会。そして羽生市民体育祭への予選会を兼ねている。

今回は北小が会場なので北小学校児童による鼓笛隊の演奏。子供が北小を卒業して久しい私にとっては、なんとも微笑ましい姿。



かつて市民運動会といえば子供たち

も選ばれた者が参加していたが人口減少に伴い子供たちを全員集めてもメンバーがそろわず参加見送りの競技も、13競技中、全地区参加できる競技4種目。

地域の中が密だった時代から時は流れ近隣関係も変化した今、地区対抗に力を置くのではなく健康促進や市民の親睦にシフトした次世代対応が必要なのかもしれない。



匠の仲間たち

わたしたちがいつもお世話になっている心強い匠たちをご紹介します。



▶ file no.016

有) 卯ノ木建工業
卯ノ木善一さん

PROFILE

生まれ：昭和29年3月
出身：羽生市

御祖父様は建具屋、お父様は建設省に勤務していたが、キャサリン台風の後、利根川の土手の移転により土木の仕事が増え、地元の建設屋で10年修業をして創業。大宮訓練校を出た後、外で1年修業して親元へ。お父様が若いころから体調を崩したので34歳で代表に。3人の息子さんも同じ世界に入ったが、次男は結婚を機に嫁のふるさと新潟で建設屋に勤めている。現在は息子さん2人が中心となって現場を切り盛りしている。これからは時代の変化に対応できるよう努力しているそうです。